



2012-2013 年度

国際ロータリー会長 / 田中 作次
2690地区ガバナー / 森田 昭一郎

会長 / 黒田 昌弘 副会長 / 飯塚 大幸
幹事 / 釜屋 治男 会計 / 河原 治子

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
4月25日	古代出雲歴史博物館 専門学芸員 佐伯 徳哉 様	鎌倉時代の出雲大社と その周辺景観
5月2日	休 会	
5月9日	飯塚大・佐々木・加藤昇 会員	地区協議会報告
5月16日	田中浩・内田 会員	地区協議会報告

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
40	32	8 (3)	86.49 %	89.19 %

欠席者

原泰 / 園山 / 園 / 杉原 / 恒松 (山根 / 牧野 / 木村)

来訪者

なし

メークアップ

4/19 大島卓 (出雲南)

次回例会受付当番

(5月16日) 桐原善行 / 内田節夫 / 山根章一
(5月23日) 小汀泰之 / 福田磨寿穂 / 河原治子
近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	松江
6/24	6/24	松江南
火	出雲 4/30(休) 6/25	松江しんじ湖 4/30
水	大社	松江 5/1
木		松江東
金	出雲南 6/21(休)	

会長挨拶

水は生命の基本

カラカラに乾いた喉に、キンキンと冷えた水を美味しいと感じたいがために、あえて私は喉が渇くまで我慢していることがあります。しかし、体のことを考えると、それは間違った行為だそうです。

ご存知のとおり、人間の体は成人の場合、約60%~70%が水分だそうです。赤ちゃんは80%以上。

加齢と共に総水分量は減少していくそうです。

水は体内で必要な物質を必要な場所に運び、不必要な物質を排出してくれますが、この循環も加齢と共に低下してきています。こまめに水を摂取して、尿と一緒にどんどん排出した方が良いのです。

また、お酒をたしなむ人には、もう1つの鉄則を。それは、アルコール1杯につき水をコップ1杯飲むこと。お酒は飲むほど脱水症状になりやすいため、お酒を飲む時、同量もしくはそれ以上の水と交互に飲むことが良いそうです。酒量も減らすことができ一石二鳥です。

自分の体重の1/30、60キログラムの人なら2リットル以上を目安に、日頃から水分補給を習慣づけましょう。 あるお医者様から……

幹事報告

1. ロータリーレートの変更

5月1日より 1ドル 98円(現行94円)

2. 休 会

松江東 RC 5/2(木) 定款第6条により

ビジター受付 12:00 ~ 12:30 定例会場(ホテル一畑)

スマイル

黒田 (本日のスピーカーの佐伯徳哉様、ようこそいらっしゃいました。)

内田 (佐伯様、今日は講演ありがとうございます。)

飯塚大 (4/28 地区協議会で大変お世話になりますが、宜しくお願いいたします。)

原康 (3月の家庭集會ご利用有難うございました。今週も都合が悪くて欠席いたします。)

釜屋 (春になりました。)

伊藤・清原 (所用により早退致します。)

スピーチ・例会行事

「鎌倉時代の出雲大社とその周辺景観」
古代出雲歴史博物館
専門学芸員 佐伯 徳哉 様



今回は、「出雲大社并神郷図」千家国造家蔵(重要文化財)となる元図をトレスされた図を資料にいただき、その図から読み取れる時代、いろいろな事柄などを、説明していただきました。この図は、その名の通り出雲大社とその周辺の景観の図です。

(1)時代として鎌倉時代後半(1248年~1300年代)に描かれたものであると推測されます)その当時は、うず柱が建てられた時代で、北島家と分かれていないことがわかります。(2)描かれた範囲は、十六島から日御崎半島・大社湾から阿式社付近、菌長浜から三瓶山付近、出雲平野の南の山々を描いてあります。(3)絵の構図として分かることがあります。中心軸:「北」「南」を結ぶ線 「稲佐浜」の付近、稲佐浜は、浄土の入り口などとされ、信仰の対象であったことが中心に位置されていた理由ではないかと思われます。「弥山」が大社境内の東側にそびえ立つ。背後に鱈淵寺谷八雲山と記載があるのが、「弥山」。「弥山」は形から(四角錐)仏教的な要素があったと思われます。(4)大社の境内は、そびえ立つ、高床の本殿、東、北、西にコの字形に築地塀(土で作った塀)、南に庁舎と柵(馬つなぎ)。柵と鳥居の間に長く馬場がみつれます。(5)生産・生活は、境内の南側に水田と農村+水源として4筋の川(北山の水が地下水などとして十分ある)。浜の集落+手漕ぎ船(日御崎周辺の浦々を往来)。(6)自然として、水田の南側から西側に砂丘。水田と砂丘の境目に松林。鹿が戯れている。ここでいう松林は、浜風からの防風・防砂林であったのでは。大社の南側が水田の中心であった。



御参考までに、一部抜粋した図「出雲大社」